



新生ロシア誕生とその後の推移



年代	歴代大統領
1990年 (ソ連)	ミハイル・セルゲーエヴィチ・ゴルバチョフ Михаил Сергеевич Горбачёв <1985年ソ連共産党書記長に就任→大統領> (在任期間:1990年~1991年 *ソ連崩壊)
1991年	ボリス・ニコラエヴィチ・エリツィン Борис Николаевич Ельцин (在任期間:1991年~1999年)
2000年	ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン Владимир Владимирович Путин (在任期間:2000年~2008年)
2008年	ドミートリー・アナトリーエヴィチ・メドヴェージェフ Дмитрий Анатольевич Медведев (在任期間:2008年~2012年)
2012年	ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン Владимир Владимирович Путин (在任期間:2012年~)

主要出来事
<ul style="list-style-type: none"> ①ペレストロイカ(改革)、グラスノスチ(情報公開) ②保守派と改革派対立 ③8月クーデター ④共産党一党独裁体制およびソ連の崩壊 ⑤冷戦終結⇒ノーベル賞受賞
<ul style="list-style-type: none"> ①2510%/年のハイパーインフレ(1992)⇒GDP▲14.5% ②米国大統領との会談(1993) ③最高会議、人民代議員大会解体(1993) ④ルーブル切り下げ(対米ドル約25%、債務不履行(1998)) ⑤民営化(1995)⇒新興財閥(オルガルヒ)⇒政治腐敗
<ul style="list-style-type: none"> ①円対ルーブル為替レート1/3に下落、国際金融支援(2000) ②第2次チェチェン紛争での人権侵害 ③国際原油価格上昇傾向胎動(2000) ④8年間にGDP6倍(購買力平価悦では72%)に増大 ⑤非民主的手法に対する批判が顕在化
<ul style="list-style-type: none"> ①タンデム(2頭立て馬車)体制。プーチンの腹心 ②有能な行政手腕 ③柔軟姿勢(対米関係など) ④ ⑤
<ul style="list-style-type: none"> ①G8加盟、西欧・日米に接近⇒その後離脱 ②ウクライナ問題(クリミア半島奪取)、親ロシア派(ロシアのダミー)支援 ③ガス、原油を武器に周辺国への威嚇、貿易制限(食料、生活用品) ④マレーシア航空撃墜の黒幕説(未解決) ⑤米ドル⇒香港ドル(中国への接近)シフト。基軸通貨からの脱却を指向